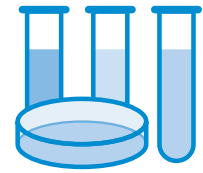


## 細菌検査統計報告 (当検査センター受託分)

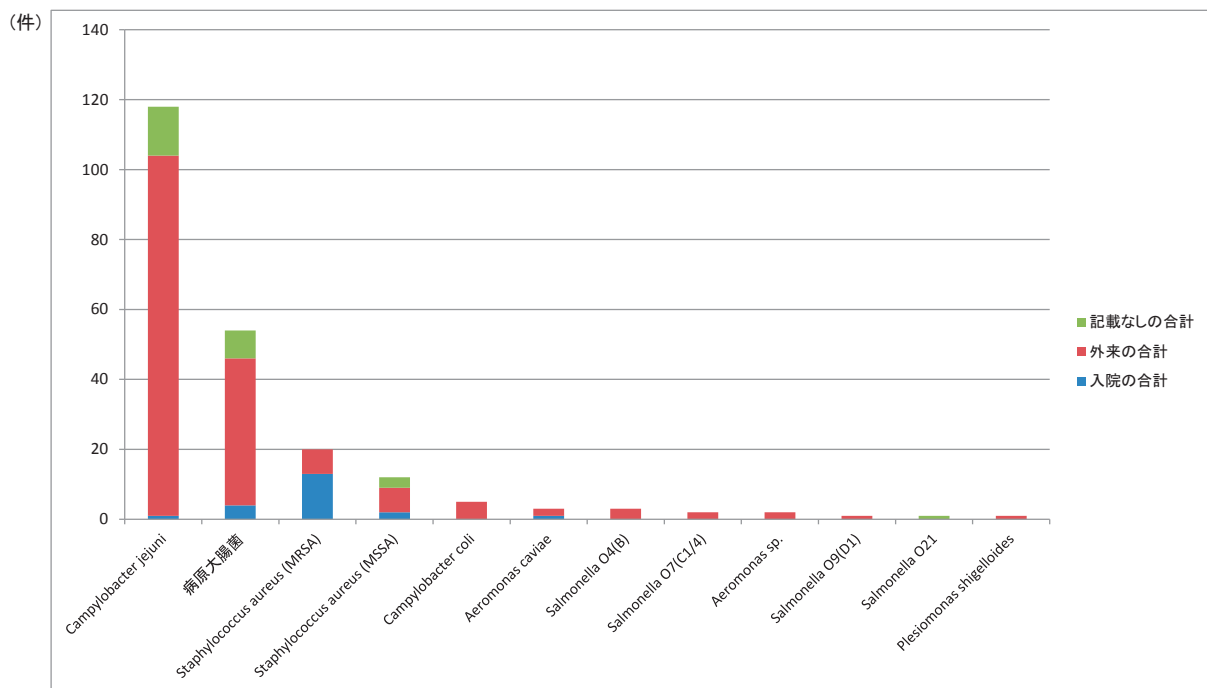


当検査センターで受託した細菌検査における細菌検出状況及び薬剤耐性菌分離状況を一部取り上げご報告いたします。全体の情報は当検査センターホームページに掲載されていますので、併せて診療にお役立ていただけたら幸いです。

今回は、糞便の細菌検出状況と、薬剤耐性菌分離状況について掲載いたします。

### 【細菌検出状況】

【糞便】細菌検出状況 2019年07月



2019年7月の糞便の細菌検出状況では、*Campylobacter jejuni*が一番多く検出され、次いで病原大腸菌と黄色ブドウ球菌(MRSA、MSSA)が多く検出されています。

また、7月は*Plesiomonas shigelloides*が1件検出されています。*Plesiomonas shigelloides*は淡水、河川水に生息し水媒介性感染症の原因となります。わが国での分離頻度は少なく、東南アジアなどの海外旅行者の下痢症の原因として時々検出されます。臨床症状は下痢や腹痛が主で、時に発熱や敗血症を起こす場合があります。

## 【薬剤耐性菌分離状況】

2019年7月分

耐性菌名		呼吸器系		消化器系		泌尿器系		血液・穿刺液系		その他(膿など)	
		耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数	耐性率(%)	件数
ESBL(基質特異性拡張型β-ラクタマーゼ産生菌)	Escherichia coli	33%	14	10%	6	29%	117	21%	5	22%	6
	Klebsiella pneumoniae	16%	9	0%	0	8%	4	0%	0	8%	1
	Proteus mirabilis	52%	11	0%	0	36%	9	0%	0	43%	3
	Klebsiella oxytoca	0%	0	0%	0	25%	2	0%	0	0%	0
CRE(カルバペネム耐性腸内細菌科細菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	1%	1
MDRP(多剤耐性緑膿菌)		0%	0	0%	0	2%	1	0%	0	0%	0
MBL(メタロβ-ラクタマーゼ産生菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MDRA(多剤耐性アシネトバクター)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌)※1		60%	194	63%	20	33%	12	38%	6	37%	169
PRSP(ペニシリン耐性肺炎球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
VRE(バンコマイシン耐性腸球菌)		0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLNAR(β-ラクタマーゼ非産生アンピシリン耐性H.influenzae)		23%	43	0%	0	0%	0	0%	0	4%	1
BLPAR(β-ラクタマーゼ産生アンピシリン耐性H.influenzae)		6%	11	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0
BLPACR(β-ラクタマーゼ産生アモキシシリン・クラバン酸耐性H.influenzae)		2%	3	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0

上記の薬剤の耐性率算出方法

$$\text{耐性率} = (\text{材料別耐性菌件数}) \div (\text{材料別対象菌件数}) \times 100$$

$$\text{※1 耐性率} = (\text{材料別MRSA件数}) \div (\text{材料別黄色ブドウ球菌件数}) \times 100$$

7月は、その他(膿など)の検体からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)が1件検出されています。CREは、腸内細菌科に属する菌種でIPMやMEPMなどのカルバペネム系抗菌薬に耐性を獲得した菌です。

CREは感染症法の5類感染症に指定されています。CREが血液、腹水、胸水、髄液などの無菌材料から検出された場合は、感染症の起炎菌と考えられることから届出の対象になります。一方、喀痰、膿、尿などの材料から検出された場合は感染症の原因菌と判定された場合に届出の対象となります。

当検査センターホームページでは細菌検出状況(検査材料別)、細菌薬剤感受性情報(菌種別)、薬剤耐性菌分離状況についての情報をご覧いただけます。<http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

検査科微生物係